

教育コミュニティづくりにおける地域人材の養成について

<課題認識>

市町村ヒアリング等を通じて、今後の教育コミュニティづくりを継続的・安定的に推進するためには、「人材養成」が課題となっている。

<現状と課題について>

(現 状)

●現在のコーディネーター数	大阪府（中核市含む）	H30	565 人
●現在のボランティアの参加数	大阪府（中核市含む）	H30	81,400 人（累計）
●コーディネーター養成講座の状況		H13～H17	1,007 人
		H27	85 人
		H30	19 人

(課 題)

●令和元年 市町村ヒアリングの結果→人材が課題	H30	17/41 市町村
・人材の不足	・人材の固定化	
・人材の高齢化	・若年層の不足	
・後継者の不足		

<今年度の取組み>

(実態の把握)

- おおさか元気広場関係者研修（第2回、第3回）での対応
 - ・参加者アンケートにおいてコーディネーター、ボランティアに対して質問
 - ・参加者同士の交流のテーマを「人材養成」として協議
- 令和2年 市町村ヒアリングにおける確認項目の検討
 - ・コーディネーターについて（年齢層・属性・参加の経緯）
 - ・ボランティアについて（年齢層・属性・参加の経緯）
 - ・市町村の人材育成に関する計画
 - ・市町村における広報の方法や頻度
 - ・働いていてもできる活動（土日祝の活動、体育大会などの行事での手伝い 等）の有無
 - ・引継ぎの方法 など

<令和2年度取組み>

- 令和2年 市町村ヒアリングの実施（5月～6月）
- ヒアリング結果の集約・分析
- 課題の似通った市町村をグループ化した上で、グループごとの対応案を作成
- 社会教育委員会議において協議